

大阪樟蔭女子大学附属幼稚園 主催

『命の大切さを伝える—共生の心をはぐくむ幼児期の体験』

大阪樟蔭女子大学児童学部 講師による子育て講座を開催

開催日：6月12日(日)

大阪樟蔭女子大学附属幼稚園（東大阪市、<http://www.osaka-shoin.ac.jp/kg>）は、6月12日(日)、大阪樟蔭女子大学にて、「子育て講座」を開催します。

大学附属幼稚園である本園は、児童研究所施設としての役割を大切に考えています。本園では、その特徴を活かし、保護者や地域の方々に子育てに関する専門的な知識を学ぶ機会を提供することを目的に、毎年2回本講座を開催しています。講師は毎回、子どもの成長や発達の専門家である大学教員が務めています。

今回は、『命の大切さを伝える—共生の心をはぐくむ幼児期の体験』をテーマに、大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科の山本一成（やまもと いっせい）先生が講師を務めます。

つきましては、開催概要についてお知らせいたしますので、告知や取材の機会がございましたら、取り上げてくださいますよう、お願い申し上げます。

【開催概要】

日時：6月12日(日) 10:45～12:00 ※申込不要、入場無料

会場：大阪樟蔭女子大学 円形ホール（東大阪市菱屋西 4-2-26）

主催：大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

お問い合わせ：大阪樟蔭女子大学附属幼稚園（TEL:06-6723-8189）

【講演内容】

テーマ：『命の大切さを伝える—共生の心をはぐくむ幼児期の体験』

グローバル化が進む中で、環境問題や食糧問題は、ひとつの国のなかで収まる課題ではなくなってきました。多様な人々とコミュニケーションをとり、自分のことだけではなく、相手の立場を考えて問題を解決していくことがこれからの社会では求められます。大きな視点でこれから子どもたちが生きる社会や未来を考えると、特に、幼児期に命の大切さを感じることは、相手を思いやる共生の心の基礎になると考えられます。具体的な子どもの経験についての話を交えながら、一緒に考えてみましょう。

【講師プロフィール】

大阪樟蔭女子大学 児童学部児童学科 講師 山本一成

2008年から2011年まで、親子で一緒に通う幼児教育施設（京都造形芸術大学こども芸術大学）にて芸術教育士・保育士として勤務。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程を経て、2014年より大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科講師。専門は、臨床教育学で、特に子どもの想像力や生命観に関心を持っている。



【本リリースに関するお問合せ先】

学校法人樟蔭学園 百周年記念事業本部（担当：宇高^{うだか}）
〒577-8550 東大阪市菱屋西 4-2-26 / TEL:06-6723-8152（直通）
FAX:06-6723-8263（直通） / E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭学園は創立100周年



樟蔭学園 100周年記念ロゴマーク